

I 第26週の発生動向 (2014/6/23~6/29)

1. 水痘については、むつ保健所管内で新たに**注意報**が発令されました。
2. 伝染性紅斑、急性出血性結膜炎については、八戸保健所管内で新たに**警報**が発令されました。
3. 無菌性髄膜炎については、五所川原保健所管内で第18週より局所的な発生が継続しています。

II 第26週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 内科	(90)	インフルエンザ							1	0.1			1	0.0	-1				
	(79)	RSウイルス感染症			1	0.1							1	0.0	1				
	(80)	咽頭結膜熱	5	0.6	2	0.2	4	0.4	1	0.2	1	0.2	2	0.5	15	0.4	5		
	(81)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.5	9	1.0	16	1.6	4	0.8	3	0.5	5	1.3	41	1.0	-4	4	0.5
	(82)	感染性胃腸炎	46	5.8	8	0.9	32	3.2	8	1.6	21	3.5	47	11.8	162	3.9	4	46	5.8
	(83)	水痘	17	2.1			11	1.1	4	0.8	2	0.3	19	4.8	53	1.3	32	17	2.1
	(84)	手足口病			2	0.2	1	0.1	1	0.2					4	0.1	2		
	(85)	伝染性紅斑	15	1.9	14	1.6	20	2.0			3	0.5	2	0.5	54	1.3	34	15	1.9
	(86)	突発性発しん	5	0.6	4	0.4	8	0.8	1	0.2	3	0.5			21	0.5	3	5	0.6
	(87)	百日咳								1	0.2			1	0.0	0			
	(88)	ヘルパンギーナ	1	0.1	6	0.7	13	1.3	1	0.2	1	0.2			22	0.5	17	1	0.1
	(89)	流行性耳下腺炎	1	0.1	3	0.3	1	0.1	1	0.2			2	0.5	8	0.2	0	1	0.1
眼科	(91)	急性出血性結膜炎					4	2.0							4	0.4	4		
	(92)	流行性角結膜炎	2	1.0						1	0.5				3	0.3	-3	2	1.0
基幹	(97)	クラミジア肺炎															0		
	(98)	細菌性髄膜炎															-1		
	(100)	マイコプラズマ肺炎					3	3.0					4	4.0	7	1.2	3		
	(101)	無菌性髄膜炎							5	5.0					5	0.8	-1		
	(82)	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.0					5	5.0	6	1.0	6		

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、八戸3人、五所川原1人、上十三1人 (2014年計:157人)
- (37) つつが虫病(四類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2014年計:8人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・無菌性髄膜炎患者(髄液、6/17~6/21)・・・エコーウイルス6型:五所川原(1)、エコーウイルス30型:五所川原(3)
- ・感染性胃腸炎患者(直腸ぬぐい液、6/2~6/5)・・・A群ロタウイルス:むつ(2)

感染症の窓

破傷風 (五類全数把握疾患)

破傷風は、感染した破傷風菌が産生する毒素により、口や手足のしびれが起こる病気です。治療が遅れると死亡することがあります。ヒトからヒトへの感染はありません。

感染して3~21日の潜伏期間後、口を開けにくい、首筋が張る、体が痛いなどの症状があらわれます。重篤な場合は、体のしびれや痛みが体全体に広がり、全身を弓なりに反らせる姿勢や呼吸困難が現れたのちに死亡することがあります。

感染症法では五類全数把握疾患に分類され、全国における2013年の患者報告数は128人で過去5年間でほぼ横ばいで推移しています。本県における報告数は、2009年以降、0~7人の範囲で推移しており、今年(2014年)は第25週現在で1人の報告があります(表1)。

先進国における患者の半数以上が60歳以上といわれており、本県の2009年から2014年第25週までの報告においては12人中7人が60歳以上でした。また、性別では12人中8人が女性でした(図1)。

破傷風菌は、世界中の土壌の中に存在し、特に、動物の糞便で汚染された土壌が危険です。けがをしたときに傷口から破傷風菌が体の中に入りますので、予防としては、農作業や植物のせん定時などに傷口に土が触れないように注意することが大切です。また、確実かつ持続的な免疫を得ることができる破傷風トキソイドワクチンの接種が有効です。

表1 破傷風報告数推移(人)
(2009年~2014年第25週現在(※))

年	青森県	全国
2009	2	113
2010	0	106
2011	7	118
2012	1	118
2013	1	128
2014(※)	1	51

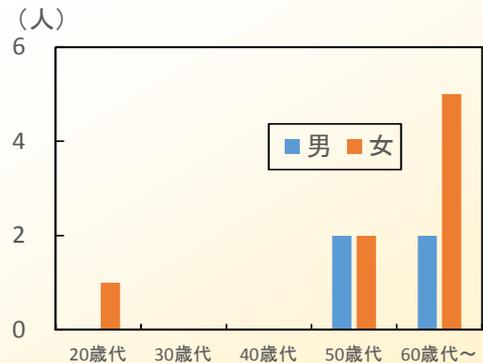


図1 本県における性別・年齢別報告数 (2009年~2014年第25週)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第10週～第26週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
10	H26.3.3 ~ H26.3.9						
11	H26.3.10 ~ H26.3.16		急性脳炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	急性脳炎1人			
12	H26.3.17 ~ H26.3.23		アメーバ赤痢1人				
13	H26.3.24 ~ H26.3.30						
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	アメーバ赤痢1人					
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人			
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第16週～第26週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	2	4	2	2	1	1
17	H26.4.21 ~ H26.4.27	2	1	2	3		
18	H26.4.28 ~ H26.5.4	1		4			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11	1					
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		1	2	1		
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	2		3	1	1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第24週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクサジウイルス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	Dengue熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリス症	マリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
累積報告数	10992	46	558	20	6	67	362	5	6	1	1	19	5	85	70	45	5	1	26	1	432	6

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ハムコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹
累積報告数	484	114	224	9	74	120	632	32	98	19	1011	8	671	48	24	220	375

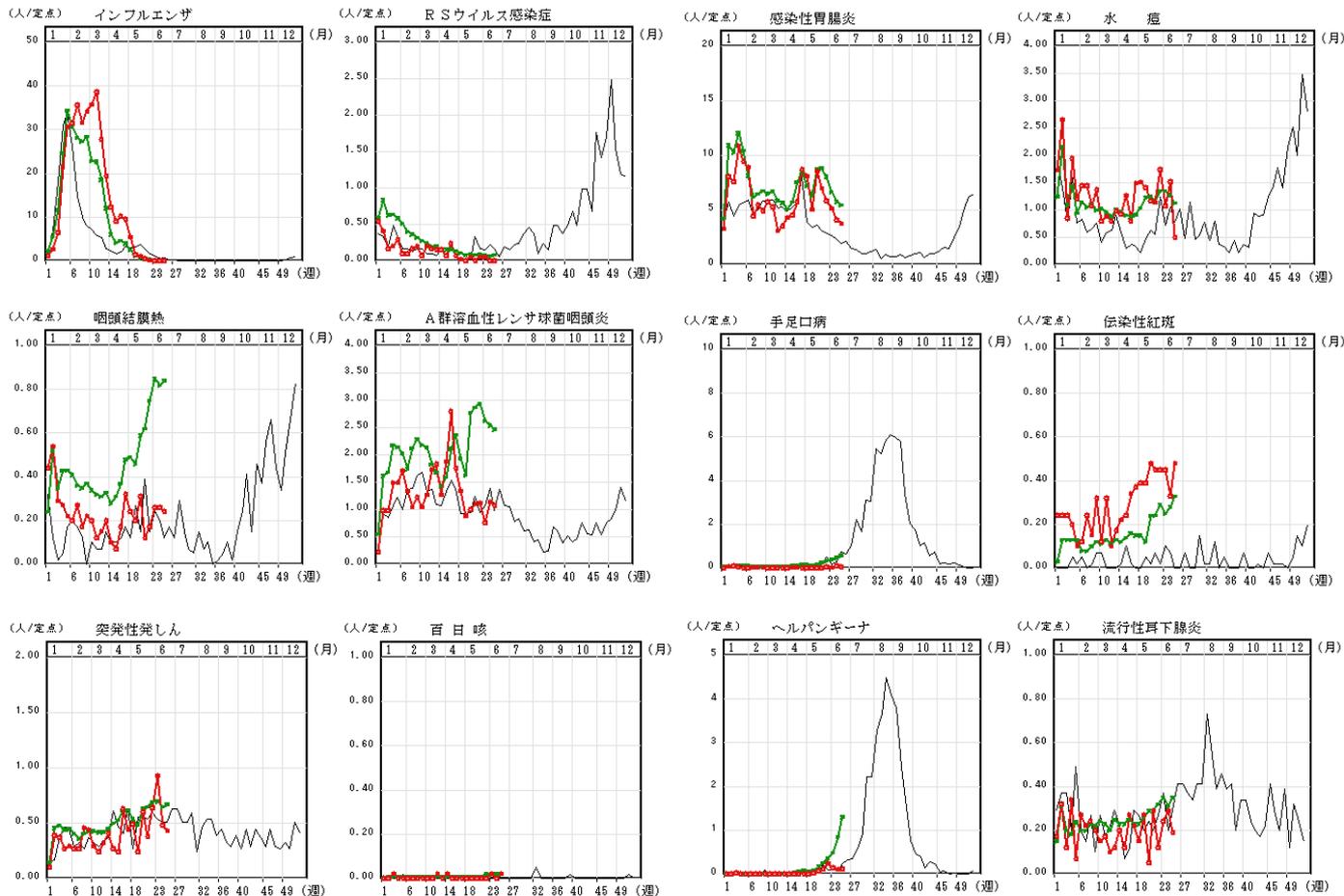
青森県

(2014年第1週～6月30日16:30累計)

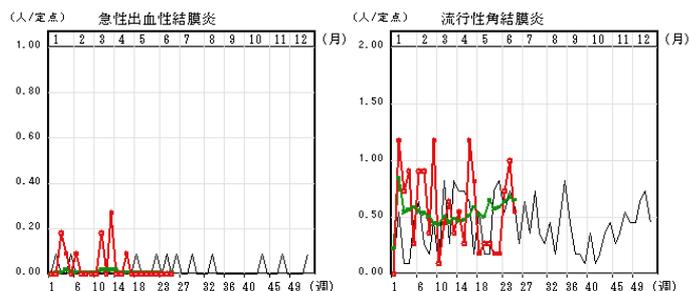
分類	二類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風
累積報告数	157	1	1	8	2	6	8	1	2	5	3	1

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第25週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第25週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第25週)

